



今年度は、中央会の正副会長にお話を伺います。

# 正副会長に INTERVIEW



中央会副会長  
みつばし のりただ  
**三林 憲忠**  
(三重県醤油味噌工業協同組合)

企業名●ヤマモリ株式会社  
役職名●代表取締役社長  
住 所●三重県桑名市陽だまりの丘6-103

電話番号●総務人事部 0594-33-3860  
創 立●明治22年  
従業員数●正社員460名

## ★貴組合のことについてお聞かせください。

三重県醤油味噌工業協同組合は昭和23年10月に設立され、組合員数は43名、三重県内の醤油味噌製造業者が100%加入しており、理事長は私で3代目です。

当組合では原材料となる大豆、小麦、調味料などの共同購入、組合員の生産物である醤油・味噌の共同販売事業等を行っています。その他、研究室では組合員の生産物の検査・分析などを行っております。醤油の出荷量は、平成25年度に全国7位で3.4%、味噌の全国出荷量は13位で構成比は1.3%を誇っています。

## ★経営方針(もしくは、社訓等)をお聞かせください。

「果てしなき夢をえがき、満足を追求し続ける」を我が社の企業理念に掲げています。配送技術のない時代に保存料・着色料を使用せずにおいしくて安全・安心な食品を食べたいという欲求に応えるため、レトルト食品が生まれました。

まず、夢を描くことが大事であり、顧客、そして消費者でもある我々も含めた皆様の満足を追求し、食を通じて皆様に喜んでいただける新たなライフスタイルを提案し続けていきたいと考えています。

## ★企業PR・仕事内容を教えてください。

当社は、創業以来125年余の歴史があり、「おいしい味！ヤマモリ」のフレーズでおなじみの醤油、つゆ、たれ、レトルト食品等を製造する総合食品メーカーです。

世の中に無いものを「あったらいいな」と、我が社の醤油醸造や、つゆ・レトルト食品製造技術を活かして、食の可能性にチャレンジしてきた結果です。

原材料から製造・加工・流通を経て最終消費者の手に渡るまで衛生面にも充分配慮し、HACCP手法を取り入れた工場など、三重県内の本社を含めた3工場で生産し、全国に販売しています。その他、タイにもレトルト食品工場の「サイアムヤマモリ株式会社」、醤油工場の「AQYソース株式会社」、タイ国内で醤油等を販売する「ヤマモリトレーディング株式会社」があり、食を通じてタイと日本の架け橋となり、それぞれの食文化を伝えています。



## ★経営トピックとしていつも気にかけていることは何ですか？

常にプラス思考であることが大事だと思っています。世の中で起こっていることは、たとえ地球の裏側のことであっても我々のビジネスにも関係のあることです。また、私の仕事は意思決定であり、社員の意見に聞く耳を持つよう心がけています。

## ★中央会の役員としての思いをお聞かせください。

中央会の会員組合には様々な業種があるので範囲が広く、できることには限度があり、難しいと思います。しかし、日本企業のほとんどが中小企業であり、中小企業が頑張らないと日本の経済は成り立ちません。1人でできることは限られていますが、中央会の副会長を仰せつかった以上は、動機づけや刺激になるような提案をして、お役に立ちたいと思っています。

～ありがとうございました～